データベース通信エラー – Cisco DBサービスの ダウン

内容

概要 <u>前提条件</u> <u>要件</u> 使用するコンポーネント <u>背景説明</u> トラブルシューティング手順 <u>ステップ1:システムの健全性チェック</u> <u>ステップ2:サービスを再起動します。</u> <u>ステップ3:ホスト、rhostsおよびsqlhostsファイルを確認します。</u> <u>ステップ4:ルートからファイルを確認します。</u> <u>ステップ5:[Informix]を確認します。</u>

概要

このドキュメントでは、このエラーに関連する問題をトラブルシューティングする方法について 説明します。CUCMページへのアクセス中に「Database Communication Error」。

前提条件

要件

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。

• Cisco Unified Communications Manager (CUCM) バージョン 11.5

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CCMバージョン11.5に基づくものです

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています 。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してく ださい。

背景説明

このドキュメントは、CUCM GUIページにアクセスしているときにデータベース通信エラーが発生した場合のトラブルシューティングのシナリオとTACテクニックを理解するのに役立ちます。 このメッセージは、A Cisco DBサービスに問題があるか、ODBCドライバに関連している可能性 があることを示しています。ただし、このドキュメントでは、A Cisco DBサービスが期待どおり に動作しない場合のチェック内容とTACによるチェック内容を説明します。

この最大の原因の1つは、システムの予期しないシャットダウンです。Linux OSでグレースフル シャットダウンが行われると、ファイルが破損し、システムがシャットダウンしたときに突然閉 じることがあります。この場合、一連のファイルを正常に閉じる必要があります。これらのファ イルは、後でブートアッププロセスを完了するためにシステムで必要になる場合があります。

その他の原因としては、FQDNの変更、IPアドレスからFQDNへの変更、または適切な手順を使 用しないFQDNの変更があります。

上記の問題が発生した場合は、システムを保存するために従う必要があるアクション項目があり ます。システムの保存は、Linuxで特定のサービスが正しく起動しない(起動状態または停止状態 で停止する)場合、そのサービスを起動するデーモン/プロセスの問題である可能性が高いため、 頻繁に言及されています。修正できるのは、サーバがリビルド中だけです。

トラブルシューティング手順

ステップ1:システムの健全性チェック

utils diagnose testコマンドとshow statusコマンドの出力を使用して、他のエラーがスローされて いるかどうかを確認し、それに応じてさらにアクションを計画できるようにします。たとえば、 show statusを使用して、アクティブパーティションが100%満たされていないことを確認します 。これが正しくない場合は、他の問題を解決する前にトラブルシューティングする必要がありま す。

admin: show status

Host Name	: CUCMII			
Date	: Wed Jul 25, 2018 00:10:07			
Time Zone	: India Standard Time (Asia/Kolkata)			
Locale	: en_US.UTF-8			
Product Ver	: 11.0.1.22045-1			
Unified OS Version	: 6.0.0.0-2	2		
Uptime:				
00:10:09 up 48 day	ys, 10:56,	1 user,	load ave	rage: 0.17, 0.29, 0.27
CPU Idle: 97.74%	System:	01.26%	User:	01.00%
IOWAIT: 00.00%	IRQ:	00.00%	Soft:	00.00%
Memory Total:	3925432K			
Free:	188156K			
Used:	3737276К			
Cached:	610140K			
Shared:	203520K			
Buffers:	27696К			
	Total		Free	Used
Disk/active	14154228K	1	L154116K	12854984K (92%)
Disk/inactive	14154228K	1	L195212K	12813888K (92%)
Disk/logging	49573612K		3454524K	43594160K (93%)

ステップ2:サービスを再起動します。

admin:utils service restart A Cisco DB Do not press Ctrl+C while the service is restarting. If the service has not restarted properly, execute the same command again. Service Manager is running A Cisco DB[STOPPING] A Cisco DB[STARTING] A Cisco DB[STARTED] admin:

ステップ3:ホスト、rhostsおよびsqlhostsファイルを確認します。

サーバの通常のCLIで一致できるのはホストファイルだけですが(レポートページに移動するには GUIにアクセスできないことに注意してください)、show tech network hostsコマンドを使用し てクラスタのすべてのサーバのエントリを照合します。サーバに不一致がある場合は、Cluster Managerサービスが修正を試みたら再起動できます。

admin:show tech network hosts

/etc/hosts File: #This file was generated by the /etc/hosts cluster manager. #It is automatically updated as nodes are added, changed, removed from the cluster.

127.0.0.1 localhost ::1 localhost 10.106.112.122 cucmsub.emea.lab cucmsub 10.106.112.123 imnp10.emea.lab imnp10 10.106.112.126 CUCM-10.emea.lab CUCM-10 admin:

ステップ4:ルートからファイルを確認します。

この手順とその後の手順は、システムに対するrootアカウントのアクセス権を取得した後に TACのみが実行されます。controlcentre.shスクリプトは、シェルからサービスを一度再起動する ために使用されます。

場所/home/informix/.rhostsおよび\$INFORMIXDIR/etc/sqlhostsからは、すべてのサーバでファイルが手動で一致します。その後、Cluster Managerサービスを再起動して、起動時に必要になる可能性のあるファイルの詳細情報を更新します。

ステップ5:[Informix]を確認します。

InformixはA Cisco DBサービスを担当するプロセスで、rootユーザーがinformixとして切り替え、 ステータスを確認する場合に**は、オンラ**インとして表示されます。

注:これらの手順をすべて確認すると、ホスト/rhostsファイルの不一致またはinformixが一時的にスタックした問題が原因で、問題が発生した場合にのみ、サービスを復旧するのに役立ちます。前述したように、これらのミスマッチの原因として考えられる理由は他にもたくさんあります。上記のドキュメントでは、問題が発生する可能性のある箇所を絞り込むために1つずつチェックする手順を強調表示しています。

ほとんどの場合、システムファイルが破損している場合に、ルートからサービスを再起動できない場合、ノードを再構築する必要があります。

パブリッシャを再構築するための参照リンク

: <u>https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/116946-technote-product-00.html</u>

サブスクライバを再構築するには:新しいサブスクライバは、古いサブスクライバと同じシステム設定でインストールされます